

京都の土地改良



第20回水・土・里ふるさと写真コンクール応募作品 「白い毛布着た茶畑」 松本幸子

年頭ごあいさつ

京都府土地改良事業団体連合会 会長	田 中 英 夫	2
京都府知事	西 脇 隆 俊	3
全国土地改良事業団体連合会 会長	二 階 俊 博	4
財務大臣政務官 参議院議員	進 藤 金 日 子	5
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	宮 崎 雅 夫	6

主な活動

令和5年度理事会並びに監事会	7
第45回全国土地改良大会 福井大会	8
農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動	9
農業農村整備事業関係予算確保に向けた要望活動	10
令和6年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要	12

研修会等

令和5年度水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会	13
令和5年度水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno	14
京都府内土地改良区の女性参画の取組	15
令和5年度換地事務新規担当者研修会	16
令和5年度農業農村整備技術実践向上研修	16
令和5年度基幹水利施設省エネルギー化技術実践向上研修	17
水土里相談	17
全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎雅夫参議院議員の府内訪問活動	18
京都府農林水産フェスティバル2023	19

土地改良区等紹介（上桂川用水土地改良区連合）	20
------------------------------	----

その他の活動等

令和5年度京都府農林水産業功労者表彰	21
叙勲受章者の紹介	21
京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組	22
京都府農業用ため池管理保全サポート協議会の取組	23

年頭のご挨拶

京都府土地改良事業団体連合会 会長 田中英夫



新年あけましておめでとうございます。

令和6年の年頭に当たり、京都府土地改良事業団体連合会の会員をはじめ、関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

また、日頃から、本連合会の運営並びに諸事業の推進につきまして、多大のご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症が、季節性インフルエンザと同じ「第5類」となり、京都府農業農村整備事業推進大会や全国土地改良大会福井大会、各種研修会などがコロナ禍以前と同様の開催となり、日常の活動ができることに安堵と喜びを感じますとともに、本会が開催した各種行事に、多くの会員の皆様に参加いただきましたことに心より感謝申し上げます。

現在、国において「農政の憲法」と言われる「食料・農業・農村基本法」が、制定から20年余りが経過し、見直しが進められています。ロシアのウクライナ侵攻や世界的な食料需要の増大などから食料の安定的な確保の必要性が高まったことを背景に、法律の見直しの4つの方向性の一つに、「皆さんに食料を届ける力の強化」として、平時からの食料安全保障や安定した食料供給が示されました。この食料供給に必要な農産物生産に欠くことができないのが、農業の担い手と水田・畑などの生産基盤であり、その生産基盤を支えているのが農業農村整備であることから、法律の改正にあたってはその必要性が明記されることはもとより、生産基盤を維持管理する土地改良区の重要性が盛り込まれなければならないと考えており、引き続き声をあげて参りたいと考えております。

また、この農業農村整備などを推進するために必要となる令和6年度の農業農村整備事業関係予算につきましては、昨年末に当初予算が、対前年100.1%となる4,463億円（令和5年度4,457億円）を閣議決定され、すでに成立している補正予算の国土強靱化5か年対策・TPP対策等1,777億円と合わせると、6,240億円となります。このような予算が示されましたことに、農林水産省御当局をはじめ関係の皆様にご挨拶申し上げますとともに、「土地改良は命綱」を掲げられている財務大臣政務官進藤金日子参議院議員と「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に活動され、何度も府内の現地を視察いただいております全国水土里ネット会長会議顧問宮崎雅夫参議院議員のお二人のお力添えにより、我々土地改良関係者の声を国政の場に届けられた賜と考えております。引き続き、会員の皆様とともに両議員の活動としっかり連携して、農業農村整備を推進して参りたいと考えております。

結びに、皆様方がご健康で幸多き年になりますようお祈り申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。

活力にあふれ 誇りの持てる京都づくりへ

京都府知事 西 脇 隆 俊



明けましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、まず新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、世の中が少しずつ日常を取り戻しました。長きにわたり感染防止対策にご協力いただいた府民の皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。そして、明治以来中央省庁で初となる文化庁の京都移転が実現しました。千年にわたる歴史と文化が日々の生活に息づく京都で国と協力して新しい文化政策を創り上げることは、京都のみならず日本全体の地方創生推進に向けての大きな一歩であり、私たちは着実に新たな歴史の扉を開けつつあります。

「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む」。これは、明治時代に活躍した啓蒙思想家・福沢諭吉の言葉です。目まぐるしく社会が変化を続ける現代において歩みを止めることは、後退するに等しいかもしれません。しかし、時代の変化を柔軟に受け容れながら、受け継がれてきた伝統に常に新しい息吹を吹き込む営みは、これまで京都が脈々と続けてきたことであり、これからも京都が担っていくことです。時には歩みを止めて振り返ることも必要ですが、社会が歴史的な転換点を迎えている中、小さな歩みを積み重ねて大きな前進につなげ、新しい価値を常に生み出し続け、活力にあふれ誇りの持てる京都づくりを進めてまいります。

来年には、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。新名神高速道路も全線開通に向け、着実に整備が進められております。私たち京都が得意とする交流の力を発揮して、多くの人、企業、文化の「新しいつながり」を創り、伝統と革新を融合させながら、未来の京都を担う人や企業を育て、文化を創ってまいります。そして、「文化の都・京都」を世界に発信しながら、世界の人たちを京都府全域でおもてなししたいと考えております。

今年は辰年です。雲を払い、蒼天に向かって昇っていく龍のように、私たちに託された京都の未来に向けて、京都府総合計画に掲げた一つ一つのプロジェクトを大きく動かしてまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年に当たって

全国土地改良事業団体連合会 会長 二 階 俊 博



令和6年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は、国内では新型コロナウイルス禍が一段落する一方、ロシアによるウクライナ侵略に加え、中東においても軍事衝突が起こるなど、国際的な混乱が続く年となりました。

国内においては、農業者の高齢化や減少が進み、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、資材価格と電力料金の高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような情勢の中、命を支える食料の確保は、後回しにできない国民ニーズであり、食料安全保障の強化は、国家の最重要課題とされ、食料・農業・農村基本法の見直しにおける大きなテーマとして議論されています。

我々は、食料安全保障の確立の観点からも、食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

令和6年度農業農村整備事業関係予算につきましては、全国の関係者の皆様の熱意ある要請活動の結果、政府予算案において、4,463億円を確保することができました。令和5年度補正予算を含めると昨年度を上回る6,240億円となります。

御尽力いただいた関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画や土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、残された期間は2年余りとなります。

将来の土地改良組織の体制強化・発展のために女性の参画を積極的に進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

私は、本会の会長に就任以来、「闘う土地改良」を旗印に組織一体となって闘ってまいりました。土地改良の代表として進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員が「車の両輪」となって、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声を国会に届けるためにも、お二人の活動の支援をお願いいたします。

「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。男女ともに一致団結して、更なる闘いを続けていこうではありませんか。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます、私の新年の御挨拶といたします。

新年のご挨拶

財務大臣政務官
参議院議員

進 藤 金 日 子



新年、明けましておめでとうございます。京都府土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願い致します。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。こうした状況下にあつて、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止まりの傾向にあり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して少数のメンバーで議論を重ねました。昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反映されました。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案や関連法案、予算制度につながってまいります。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力（食料自給力）の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでも増して重要となります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員

宮 崎 雅 夫



輝かしい初春を迎え、京都府土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様方へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

近年の異常な気象状況の中で昨年も、線状降水帯の発生など、梅雨前線の停滞に伴う被害や連続する台風被害などにより、広い範囲で強風、湛水の被害、土砂災害などが発生しました。また夏場の高温被害や、渇水による水源の枯渇など地域によっては、農業用水が安定供給されない事態もございました。京都府でも8月中旬、台風7号による災害がございました。

被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進、土地改良施設等の適切な管理並びに厳しい状況の中で土地改良区の運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、農林水産大臣政務官を勤めさせていただいた経験をもとに、特に昨年は、私が現場でお聞きした皆様の声を進藤金日子議員とも連携しながら、国会等で発信し、皆様方からお受けした、たくさんのご要望等に対し、それぞれの地域の課題解決等に向け、全力で努力させていただきました。これらご要請を含め、昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、農林水産関係で総額8,182億円、このうち、土地改良関係については、昨年第二次補正予算から100億円アップの1,777億円（食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化857億円）を確保できました、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰に対し、増嵩分の7割を支援する制度の継続も含まれています。また、令和6年度当初予算の概算額としては、前年を上回る4,463億円が計上され、総額6,240億円となる見込みとなりました。参議院予算委員会の理事として、これから行われる通常国会で、早期成立に向けて尽力していきます。

また、今通常国会では、四半世紀ぶりに「農政の憲法」言われる食料・農業・農村基本法の改正を行う予定ですが、カロリーベースで6割超を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化についてしっかり議論を進め基本法に位置付けていく必要があります。さらに国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組推進や農業農村関係人口の拡大などを含めて、適切に施設の保全管理が図られるようしっかりと土地改良区の運営強化を推進していくことが重要です。

私も、昨年還暦を迎えました。引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、京都府土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係機関の益々のご発展と皆様のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

令和5年度理事会並びに監事会

理事会並びに監事会・監査が開催され、すべての議案が原案どおり承認されました。

■ 第1回監事会・第1回監査

日時 令和5年7月26日(水) 午後1時から

場所 本会役員室

〈監事会〉

- (1) 令和5年度の監査計画について
- (2) 令和5年度(第1回)収入支出補正予算の承認について
- (3) 本連合会と理事との契約について

〈監査〉

- (1) 令和4年度事業報告書
- (2) 令和4年度収入支出決算書(案)並びに財産目録
- (3) 積立金の管理状況
- (4) 現物確認



第1回監事会・第1回監査

■ 第1回理事会

日時 令和5年7月29日(土) 午後3時から

場所 都ホテル京都八条(京都市南区)

〈議事〉

- (1) 令和4年度事業報告書の承認について
- (2) 令和4年度収入支出決算並びに財産目録の承認について
- (3) 令和5年度(第1回)収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について



第1回理事会

■ 第2回監事会

日時 令和5年11月28日(火) 午後1時から

場所 本会役員室

〈議事〉

- (1) 令和5年度(第2回)収入支出補正予算の承認について
- (2) 本連合会と理事との契約について



第2回監事会

■ 第2回理事会

日時 令和5年12月2日(土) 午前11時から

場所 巨椋池土地改良区会議室(宇治市)

〈議事〉

- (1) 令和5年度(第2回)収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について
- 理事会終了後に巨椋池排水機場視察



第2回理事会 現地視察(巨椋池排水機場)

第45回全国土地改良大会 福井大会

令和5年10月11日（水）、第45回全国土地改良大会（福井大会）が『「水土里」がある、「幸福」がある、「笑顔」がある、～ふくいで語る土地改良の未来～』をテーマに、福井県越前市の「サンドーム福井」で全国各地から4,000名超の土地改良関係者が参加（京都府からは113名）し、開催されました。

オープニングセレモニーでは、マリンバとハープの美しい演奏と、和太鼓集団OTAIKO座明神による圧巻のパフォーマンスが披露されました。大会式典は、開会宣言に始まり、国家斉唱の後、山崎正昭福井県土地改良事業団体連合会会長が開会挨拶、義経賢二全国土地改良事業団体連合会副会長が主催者挨拶を代読、杉本達治福井県知事、山田賢一越前市長、佐々木勝久鯖江市長の歓迎のことばに続き、武村展英農林水産副大臣、稲田朋美衆議院議員、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問、宮崎雅夫同顧問の来賓祝辞がありました。続いて行われた、土地改良事業功績者表彰では、京都府から堀口文昭八幡市長（当時）が全土連会長表彰を受賞されました。



式典会場

休憩の後、青山健治農林水産省農村振興局次長から基調講演が行われ、続いて、優良事例紹介として、定司俊憲南砺市土地改良区理事長（富山県）から「土地改良区における女性理事登用」についてと、川合久利子福井県土地改良事業団体連合会理事から「女性理事」としての2件の報告がありました。

大会宣言は、福井県立大学の荒井湧太朗さんと川端凜花さんが、『未来の土地改良について語り、夢のある農業とにぎわいのある農村の創出を目指していくこと』と、福井の地から全国に向けて、高らかに宣言し、満場の拍手が寄せられました。

最後に、次期開催県である千葉県に大会旗の引継ぎが行われ、森英介千葉県土地改良事業団体連合会会長の挨拶の後、力野豊敦賀市土地改良区理事長の挨拶で閉会となりました。

大会終了後、宿泊地であるあわら市内のホテルにおいて、京都府の参加者により交流会を行いました。交流会では、様々な情報交換が行われ、盛会の内に終了しました。

翌日は、本会の独自事業視察コースに101名の参加をいただき、福井市（堂田川）世界かんがい遺産・水環境整備事業と敦賀市（敦賀西部地区）経営体育成基盤整備事業等を視察しました。

なお、回りの第46回全国土地改良大会（千葉大会）は、令和6年10月22日（火）千葉県幕張メッセで開催されます。多数の参加をお待ちしています。



全土連会長表彰受賞 堀口文昭氏

農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動

令和5年11月7日（火）、東京都千代田区シェーンバッハ・サボー（砂防会館別館）において、「農業農村整備の集い」が、全国の関係者と宮下農林水産大臣、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子、宮崎雅夫両参議院議員をはじめ多くの衆参国會議員の参加の下、京都府内からは田中英夫会長外5名が参加し、全国から関係者が集い開催されました。



会場の様子



二階全土連会長あいさつ



宮下農林水産大臣



全国水土里ネット会長会議顧問
進藤参議院議員



全国水土里ネット会長会議顧問
宮崎参議院議員



全国水土里ネット女性の会
根本会長

開催当日は、衆議院本会議があったことから、次第が大きく変更され、まず、全国水土里ネット会長会議顧問進藤金日子参議院議員の挨拶で大会はスタートし、その後、土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保する等の要請書が朗読され満場一致で採択されました。

続いて、全国水土里ネット会長会議顧問宮崎雅夫参議院議員から、閣議決定された総合経済対策や令和6年度の関係予算の概算要求、食料農業農村基本法の見直し等についての報告、全国水土里ネット女性の会根本由紀子会長から、水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno の実施結果の報告がありました。

この後、休憩の間、二階俊博全土連会長をはじめ多くの衆議院議員の来場があり、主催者を代表して二階全土連会長より、「我々は、農業農村整備予算獲得に向けて団結して頑張らなければならない。」との挨拶があり、宮下一郎農林水産大臣、高市早苗経済安全保障担当大臣、森山裕自民党総務会長、細田健一自民党農林部会長から、それぞれ祝辞がありました。

最後に、参加者全員による「ガンバロウ三唱」で締めくくられました。

農業農村整備の集いの後、衆議院議員会館、参議院議員会館に京都府と縁のある国會議員を訪ね、決議された要請書により要請活動を行いました。



ガンバロウ三唱

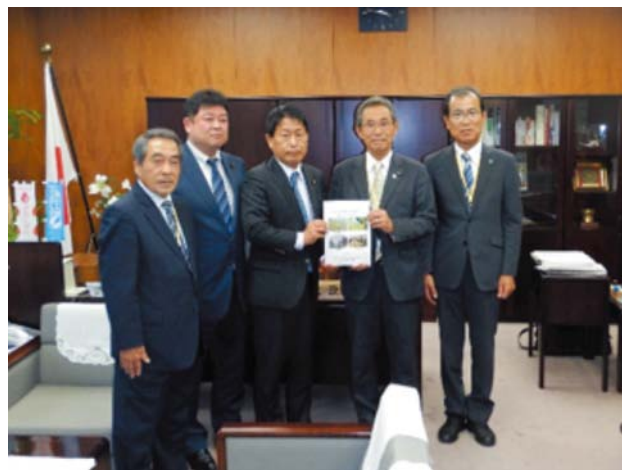
農業農村整備事業関係予算確保に向けた要望活動

■農林水産省、財務省、関係国会議員に対して要望活動

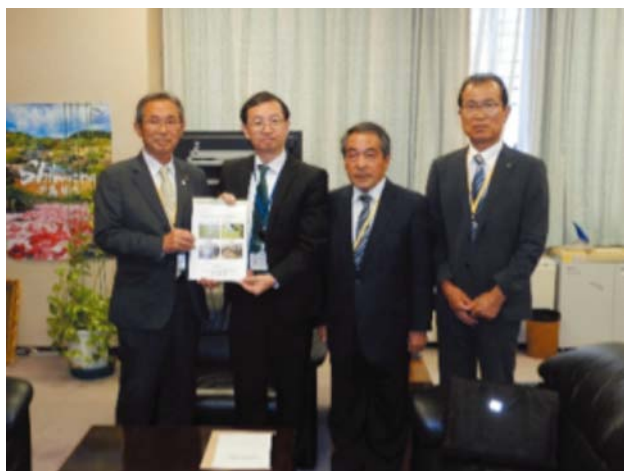
京都府議会土地改良議員連盟（近藤永太郎会長）と合同で、令和5年11月8日（水）、農林水産省、財務省、関係国会議員に対して要望活動を行いました。



財務省 漆畑主計官



武村農林水産副大臣



農村振興局 青山次長



農村振興局 佐藤農村政策部長



農村振興局 緒方整備部長



吉井参議院議員

■近畿農政局、京都府に対して要望活動

令和5年12月15日（金）、農林水産省近畿農政局、京都府に対して要望活動を行いました。



安東近畿農政局長



西協京都府知事

〈要望事項〉

■重点事項

- 1 農産物生産の維持・強化に向けた生産基盤の整備や、農村地域の防災減災対策に資するため池改修など農業農村整備事業が、計画的・安定的に推進できるよう令和5年度補正予算と令和6年度当初予算を十分確保すること。
- 2 農地・農業用水などの維持に不可欠となっている多面的機能支払や中山間地域等直接支払など日本型直接支払制度の予算確保と、この活動が一層充実するよう活動組織への支援体制を拡充すること。
- 3 小規模な土地改良施設に対する整備補修・更新支援の拡充と施設を管理する土地改良区の運営基盤の強化を支援すること。

■一般事項

- 4 都市部における農業が果たす多面的な役割が継続できるよう、土地改良施設の整備を、農業振興地域と同様に推進すること。
- 5 土地改良区の安定的な運営には、農業が持続可能で魅力ある産業でなければならない。資材費等のコスト上昇分が適切に農作物価格に反映されるとともに、農業者の所得が他産業並みに確保されるよう、必要な施策を講じること。
- 6 食料・農業・農村基本法の見直しに当たっては、農業生産を支える土地改良施設の機能確保やその維持管理を担う土地改良区の必要性を盛り込むこと。

※京都府知事要望では6の事項は除いた。

令和6年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

令和6年度農業農村整備関係予算4,463億円が、令和5年12月22日に閣議決定され、既に成立している令和5年度補正予算1,777億円と合わせて6,240億円となります。

○令和6年度当初予算

(単位：億円)

・農業農村整備事業〈公共〉	3,326 (3,323)
・農業農村整備関連事業（非公共） 農地耕作条件改善事業、畑作等促進整備事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金	548 (543)
・農山漁村地域整備交付金〈公共〉 (農業農村整備分)	588 (591)
計	4,463 (4,457)

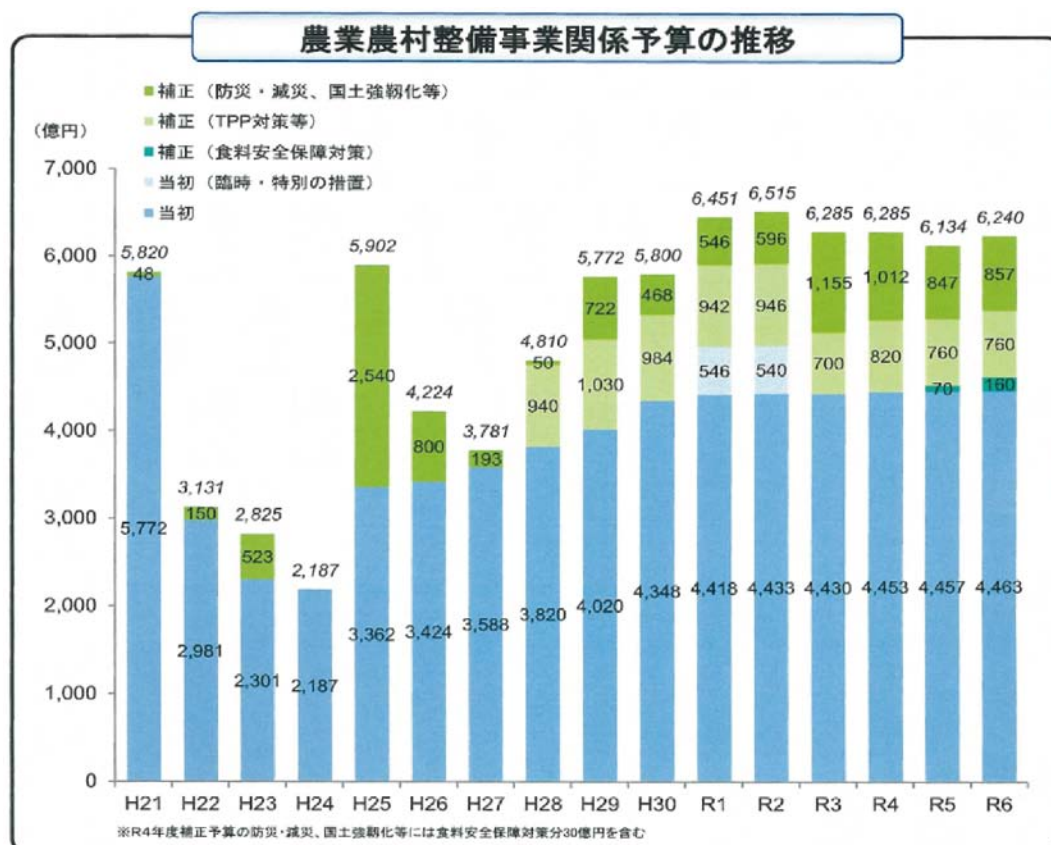
※下段（ ）書きは、令和5年度当初予算額。
計数は四捨五入により、端数において合計と一致しないものがある。

○令和5年度補正予算

(単位：億円)

・防災・減災、国土強靱化のための5か年 加速化対策〈公共〉	1,777 (1,677)
・TPP対策	
・食料安全保障対策	

※下段（ ）書きは、令和4年度補正予算額



令和5年度水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会

令和5年11月21日（火）、京都ガーデンパレスにおいて土地改良区役職員等研修会を土地改良区の運営の意義や今後の営農作業を支えるスマート農業への理解を深め、さらに土地改良区の運営を担う役職員の健康増進を目的に開催しました。

初めに、太田信介元農林水産省農村振興局長より「京都の水土里ネットを未来に！～皆さんの役割と将来を話し合う～」と題し、土地改良区の重要性の再確認、未来の土地改良区に向けた展開方向等についてご講演いただき、続いて一般財団法人京都予防医学センターの鮎子田睦子保健師より「寝る子は育つ・睡眠と健康」と題して、役職員の健康維持について講演いただきました。

最後に、大橋善之京都府農林水産技術センター長より「京都府におけるスマート農業と今後の研究方向」と題し、京都府で実際に導入されているトラクターの自動操縦システムや水管理システムや開発中の通信技術や自動光照射装置を用いた鳥獣害対策といったスマート農業についてご講演いただきました。



研修会場の様子



開会あいさつ 藤原事務局長



太田信介氏講演



鮎子田睦子氏講演



大橋善之氏講演

令和5年度水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno

水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazunoが、令和5年9月27日（金）、ホテル鹿角（秋田県鹿角市）において全国水土里ネット女性の会並びにあきた水土里ネット女性の会主催により、全国都道府県女性の会会員ら約200名が参加のもと開催されました。

開催にあたり主催者を代表して、根本由紀子全国水土里ネット女性の会会長の挨拶に続いて、来賓として全国水土里ネット会長会議顧問宮崎雅夫参議院議員、進藤金日子参議院議員及び全国土地改良事業団体連合会室本隆司専務理事の挨拶がありました。



根本会長 挨拶



宮崎参議院議員 来賓挨拶

また、基調講演として、佐藤一絵農林水産省農村振興局農村政策部長より「土地改良区の未来を拓く多様な人材の活躍に向けて」と題して講演がありました。

基調講演では、女性活躍推進によって男性も働きやすい環境となり、男性活躍にもつながることや女性のリーダーを育成するには、女性も積極的に社会に介入していくことの大切さ等が講演されました。

その後、「男女共同参画社会を実現するためには」をテーマにパネルディスカッションが行われ、秋田県立大学生物資源科学部長濱健一郎教授がコーディネーターを務め、奥村千扶子大島堰土地改良区理事長（宮崎県）、今野信子大仙市大曲土地改良区理事（秋田県）、千田公喜胆沢平野土地改良区理事長（岩手県）、中尾祥子島根県土地改良事業団体連合会理事と女性が活躍できる農村社会をどのように築いていくのか、土地改良区の女性理事登用を進めるためにはどのような環境づくりが必要なのか等の意見交換が行われました。



パネルディスカッションの様子
（左より奥村理事長、今野理事、千田理事長、中尾理事）



佐藤農村政策部長基調講演

京都府内土地改良区の女性参画の取組

奥海印寺土地改良区 京都府

すこしでも地域の役に立てるのであれば
令和5年4月女性の理事が就任。



理事 藤井孝子さん

令和5年4月より理事

農業（水稻とたけのこ）に携わる傍ら、令和3年度から長岡京市ゲンジボタルを育てる会の役員（会計）として、地域の活動に熱心に取り組む

組織の概要

奥海印寺土地改良区（京都府）

面積／11ha、組合員／49人

理事／5人（うち女性1人）任期2年

登用までの流れ

令和5年1月 理事長、副理事長で女性理事
登用の方針確認

令和5年2月 理事会で異議なく了承される

令和5年3月 総会において選任

令和5年4月 理事就任

藤井良章理事長より

以前から、地域の自治会をはじめ各種組織の役員が男性ばかりなのは、おかしいと感じていた。今回の女性理事登用の推進活動は、よいきっかけとなったが、遅いぐらい。今後、理事に女性になることが当たり前となるよう、継続が必要と考えている。



藤井孝子さん

「すこしでも地域の役に立てるのであれば。」
との気持ちで、引き受けました。役立ちたい。



藤井良章理事長

今回の女性理事登用を契機に、理事に女性がいることが、当たり前の土地改良区にしていきたい。

（取材者感想）

女性理事の実現は、理事長のリーダーシップはもとより、副理事長との連携や、日常の自治会等の活動を通じた地域の強い繋がりが、早期の女性理事登用を実現したと感じました。

令和5年度換地事務新規担当者研修会

令和5年8月30日（水）、31日（木）の2日間、サンガスタジアム by KYOCERA会議室において、令和5年度換地事務新規担当者研修会を開催しました。

初日は、近畿農政局農村振興部土地改良管理課中村農地集団化推進官より土地改良法及び換地設計について、京都府農業会議農村創生部會澤参事並びに堀野農地中間管理事業推進室長より農地関係法令について、それぞれご講義いただきました。

2日目は、本会職員から換地設計基準、土地評価、換地計画原案の作成、相続等代位登録について講義しました。なお、2月に所有者不明土地管理制度を主なテーマとして令和5年度換地計画実務研修会の開催を予定しておりますので、是非ご参加いただきますようお願いいたします。



中村農地集団化推進官



會澤参事

令和5年度農業農村整備技術実践向上研修

令和5年12月14日（木）に京都市、令和5年12月22日（金）に綾部市の2会場で「農業農村整備技術実践向上研修」を開催し、2会場合わせて32名の参加がありました。

本研修では、関西電気保安協会による電気機器の保安講習と、例年多くの相談が寄せられる水路のゲートについて、NTT西日本京都支店・エクシオグループによる遠隔監視機器の紹介や電動化、遠隔制御システムについての研修を行いました。

併せて、土地改良施設の機能低下の防止、機能回復等を目的とする水利施設の補改修の補助事業である土地改良施設維持管理適正化事業の事務手続について、令和4年度から始まった防災減災機能等強化事業も含めた内容を本会職員から説明・紹介しました。



京都会場



綾部会場

令和5年度基幹水利施設省エネルギー化技術実践向上研修

本研修会では、近年の電気料金高騰などにより維持管理費が増加している農業水利施設があることから、府内の省エネルギー化事例の紹介等を行うことで、農業用施設の省エネルギー化を推進することを目的として下記のとおり開催しました。

- ・開催日：令和5年9月19日（火）
- ・場 所：京都府自治会館「自治会館ホール」
- ・参加者：土地改良区の役職員等 29名

来年度も省エネルギー化に関する研修を実施予定ですので是非ご参加ください。



研修会場



鶴見製作所講演



会場展示

内 容	講 師
① 農業水利施設の省エネルギー化に関する情報提供	京都府土地改良事業団体連合会
② 吹前揚水機場 ポンプ更新事例	京都府山城広域振興局地域づくり振興課
③ 小規模ポンプの省エネルギー化技術について	株式会社鶴見製作所
④ 適正化事業 防災減災機能等強化事業の紹介	京都府土地改良事業団体連合会
⑤ 京都府電気代高騰支援対策について	京都府農林水産部農村振興課

水土里相談

令和5年度も巡回による水土里相談を実施しました。相談内容と件数の推移は下表のとおりです。

水土里相談には、京都府から農林水産部農村振興課、又は広域振興局地域づくり振興課の担当職員にも出席いただき、「農業水利施設管理支援事業」「農業水路やため池での安全対策」等についての情報提供や、会員の相談に対して行政の立場から助言・指導をいただきました。

また、会員の皆様の課題や要望を国・府への要望に反映するため、要望書（案）等をもとに意見交換を実施しました。

連合会では、今後も会員の皆様とともに、土地改良事業の一層の推進や土地改良区の課題解決等のために水土里相談を実施してまいりますのでご協力よろしくお願いします。

水土里相談の開催の様子



亀岡支部



福知山支部

相談内容と件数の推移

相 談 内 容	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	件 数	件 数	件 数	件 数	件 数
1 土地改良区の運営について	33	6	5	11	25
2 土地改良施設について	20	6	20	15	10
3 会員支援事業について	8	8	4	2	8
4 補助事業制度について	0	0	0	0	20
5 要望等について	7	1	25	9	20

全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎雅夫参議院議員の府内訪問活動

令和5年7月14日（金）、綾部市と京丹後市において、土地改良関係者やほ場整備を実施中の受益者との意見交換会を開催しました。

綾部市では、山崎綾部市長を表敬訪問の後、大槻綾部井堰土地改良区理事長や下位田地区のほ場整備関係者と意見交換を行い、河川敷地内の用水路の劣化が著しいことや、ほ場整備後であっても草刈り作業を行うにあたり法面勾配がきついところがあるなど、地域の実情や改善要望がありました。

京丹後市では、表敬訪問した中山京丹後市長より、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に係る支援充実に関する要望がなされ、多面的機能支払交付金の増額や活動組織の広域化への支援を要請されました。その後、京丹後市の会議室において、行待丹後土地改良区理事長をはじめ、京丹後市管内の土地改良関係者15名と意見交換を行い、老朽化した施設の補修・管理に苦慮している状況や突発事故に対応する支援の要望など地元の課題を伝える良い機会となりました。



綾部市下位田地区での意見交換



京丹後市内土地改良関係者との意見交換出席者

令和5年9月23日（土）、本年8月に豪雨災害のあった綾部市と地区内の排水対策を進めている綴喜西部土地改良区（八幡市・京田辺市）を訪問し、現地視察や意見交換を行いました。

綾部市では、山崎副市長から市内西方地区の堆積土が著しい水田や土砂流入したため池の被災状況や、地元の代表から当日の豪雨の状況について説明がありました。

その後、八幡市まで移動して、綴喜西部土地改良区が管理する八幡排水機場の管理室において、管内の排水対策や老朽化した排水機場の改修計画、さらに排水機の起動や豪雨時の土地改良区職員の配置体制など、現地の状況をお伝えしました。



綾部市内被災現場視察



八幡排水機場現地視察

令和5年10月7日（土）、本会亀岡支部（支部長桂川亀岡市長）主催による「亀岡の農業の未来を考える会」が開催され、宮崎顧問の講演がありました。この会は、国内2例目となる「オーガニックビレッジ宣言」をされた亀岡市において、農業の未来を考える機会として土地改良区関係者等が一堂に会し開催されたものです。

宮崎顧問からは、土地改良予算・制度の状況や食料・農業・農村基本法の見直し状況について講演があり、その後の意見交換では、桂川亀岡市長より、給食へのお米を始めとする有機農産物の導入や生産者の育成等といった亀岡市の取組説明や、会場参加者より有機農業で生産された農作物の国によるPR活動の拡充要望などがありました。



宮崎顧問の講演



意見交換会
(左から、桂川亀岡市長、宮崎顧問、本会伊藤常務理事)

京都府農林水産フェスティバル2023

令和5年11月25日（土）、26日（日）の2日間、京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ）において、「京都府農林水産フェスティバル2023」が開催されました。

本会からは、農業農村整備の重要性と土地改良区の役割と活動を多くの方々に知っていただくため、広報パネルや写真コンクール入賞作品の展示を行いました。



出展の様子

土地改良区等紹介

上桂川用水土地改良区連合

管理施設：上桂川統合堰、幹線水路、揚水機、除塵機、パイプライン、井堰
関係市：亀岡市 地区面積：521ha

◆井堰の変遷

亀岡盆地の桂川沿いに開けた水田を七つの井堰(寅天堰、馬路堰、江川堰、神田堰、堀越堰、牡丹餅堰、上中島堰)により各集落が取水しており、これら井堰の内、南丹市と亀岡市の境にあった寅天堰は「大堰川の井堰 天に敬う堰」として、他の井堰の模範となり下流地域の水田を潤しておりました。

これらの井堰の構造はいずれも打詰杭式木工沈床堰で昭和20年頃に築造されて以降は、維持管理に多くの労力と費用を要し、また、再三の洪水により被害を被っておりました。

◆亀岡盆地の七堰が一つに 災害復旧

昭和34(1959)年8月13日の「口丹波水害」、さらには同年9月25日の「伊勢湾台風」により、7つの井堰流失の大被害を受け、各井堰の再建が困難であることから、府営上桂川統合井堰災害復旧事業として昭和36年11月に7つの井堰を統合し、旧寅天堰の直下流に可動堰の築造、幹線水路整備に着手し、総工事費3億3790万円を費やして、昭和38年11月に統合堰として完成し、それを機に下流地域の右岸左岸の6改良区にかんがいしている土地改良区の連合として上桂川用水土地改良区連合が設立されました。

◆統合堰の維持管理と全面改修

完成以降は、経年劣化による補修を絶え間なく行うものの、部分補修では対応出来ない状態が続き、合わせてゲート稼働不良等の不具合も生じるなど、河川災害の恐れが懸念される状況でありました。

そこで、平成27年度から令和2年度に府営農村地域防災減災事業で全面改修に近い全ゲート並びに油圧装置の取替、操作施設整備、躯体コンクリート補修等を総工事費7億8203万円を費やして実施しました。

新たに近隣地域の安全を守るために遠隔監視装置を備付け、常水時及び豪雨時の堰の状況把握により、早急な対応が出来る施設となりました。

今回に整備が出来なかった右岸、左岸の取水ゲートは、土地改良施設維持管理適正化事業の補助金を活用して施設整備を予定しています。

◆今後の課題

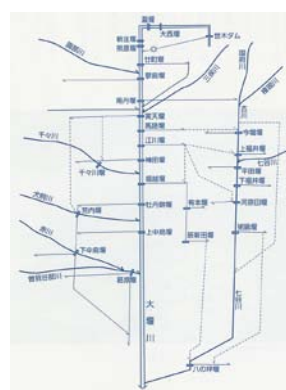
統合堰は改修により安全なかんがい施設となりましたが、当連合が施設管理しています幹線用水路(三面張コンクリート)11.6km、揚水機施設18基、井堰3箇所、除塵機3基、パイプライン9.4kmについて、どのような形で維持管理並びに施設更新を行うかが大きな課題となっております。

◆まとめ

上桂川統合堰は、亀岡市の水田面積の3割近い農地にかんがいしており、統合堰がもたらす大堰川の恵みの水は「京都の穀倉地帯」の亀岡の地を潤すために、所属土地改良区と連携し後世に受け継ぐための施設となるように努力してまいります。



昭和20年頃の寅天堰



昭和34年頃の井堰用水模式図



統合堰近景



統合堰全景

令和5年度京都府農林水産業功労者表彰

令和5年11月25日（土）、京都市伏見区の京都府総合見本市会場（京都パルスプラザ）で開催された京都府農林水産業功労者表彰式典において、多年にわたり農林水産業等に関する団体の役員として当該団体の発展に寄与し、農林水産業の振興及び発展への顕著な貢献により、6名の土地改良関係者が京都府農林水産業功労者表彰を受賞されました。受賞者の皆様おめでとうございます。

杉本 文雄	氏	（前）京北六ヶ土地改良区理事長
森田 清孝	氏	（前）今里土地改良区理事長
森田 重俊	氏	（前）内川土地改良区理事長
山本 喜八郎	氏	城西土地改良区理事長
森本 豊	氏	（前）相楽郡川西土地改良区理事長
石河 良一郎	氏	（前）丹後土地改良区理事長

叙勲受章者の紹介

土地改良関係者が叙勲を受章されました。



令和5年11月3日付け
旭日単光章(土地改良事業功労)
太田 英生 氏
(前)丹波町土地改良区理事長

非補助農業基盤整備資金

非補助農業基盤整備資金は土地改良区等が国からの補助を受けず、ほ場整備や土地改良施設の整備事業に取り組む際に、日本政策金融公庫等が土地改良区等に対し長期・低利で融資する資金です。なお、府や市町村が単独で行う補助事業も、融資の対象となります。

■対象となる事業種類

かんがい事業、排水設備整備、ほ場整備、客土、農道、索道、農地造成、防災、農業集落排水(宅内の整備含む)、事務所、事務機器、車両、調査費など。

■融資条件

ご利用いただける方：土地改良区、土地改良区連合等
償還期限：最長25年(据置期間10年以内)
融資限度額：地元負担金(最低限度額50万円)
金利：1.1%(令和5年12月13日現在)

融資のご相談・お問い合わせ

農協、信連、各市町村役場、府広域振興局、
京都府土地改良事業団体連合会、
日本政策金融公庫京都支店
農林水産事業融資課(075-211-2147)

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組

第14回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール

農と水と環境を良好に保全する地域ぐるみの活動の大切さを子どもたちに気づいてもらい、併せて、本コンクールの広報活動を通じて、広く府民への周知を図ることを目的に、「第14回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール」を実施したところ、500点の応募があり、令和5年10月13日（金）開催の審査会において、知事賞他の入賞作品が選定されました。

表彰式と入賞作品の展示を令和5年11月25日（土）、26日（日）に開催された「京都府農林水産フェスティバル2023」において行いました。



表彰式の様子



入賞作品展示の様子

受賞作品は協議会ホームページ（<http://www.nouchimizu-kyoto.jp/>）に掲載しております。

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会優良表彰

農地・水・環境の良好な保全と質的向上を目指し、日本型直接支払制度及びその推進に資する地域ぐるみで効果の高い活動や、先進的な取組を実践している優良な組織等を表彰することにより、関係者の意欲の高揚を図るとともに、各地での取組の更なる充実を促進することを目的に、平成25年度から優良表彰を実施しています。

本年度は令和5年10月20日（金）開催の現地ヒアリング及び審査会において、知事賞他の受賞組織が選定されました。

表彰式と受賞組織の活動紹介パネル展示を令和5年11月25日（土）、26日（日）に開催された「京都府農林水産フェスティバル2023」において行いました。



表彰式の様子



パネル展示の様子

京都府農業用ため池管理保全サポート協議会の取組

令和5年度の主な活動

令和2年度に設立されて以降、ため池の適正な管理及び保全を目的として、ため池管理者等の相談対応、研修及びため池の点検、現地調査などの活動を展開してきました。

令和5年度は、ため池現地調査に積極的に取り組み190箇所あまりのため池について調査を実施しました。また、積極的に管理保全に取り組まれているため池管理者からの要望に基づき、ため池現地での管理保全に係る現地研修を実施しました。



管理保全 現地研修（京丹後市）



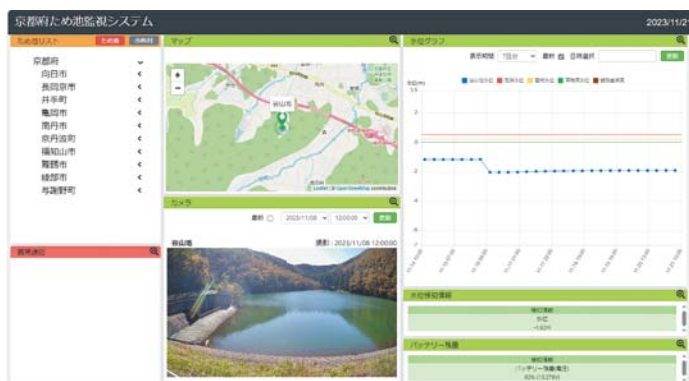
コンクリートダム 点検指導（井手町）



管理保全 現地研修（大山崎町）

ため池水位遠隔監視システムの導入

大雨時や地震発生時に、ため池の状況把握が困難で避難対策が適切に行えない恐れがあるため池を対象とした「遠隔監視システム」を昨年度13箇所のため池に設置し運用が開始されました。ため池の水位や静止画像がスマートフォンやパソコン画面で確認できますので、緊急時の避難行動に繋がるようシステムの活用を期待しています。



パソコン画面（静止画像、水位の表示）



設置例（水位計とカメラ）

ため池水位遠隔監視システム URL：<https://az-01-01-fir-kyoto-pond-monitor.japaneast.cloudapp.azure.com/>



第21回

みず つち さと
水・土・里 ふるさと

スマホの
写真もOK!

写真 コンクール

作品募集

「水・土・里」をテーマとした、地域の自然環境や景観、農業や農業用施設との関わり、人とのつながりを写した写真を募集します。

〈応募期間〉令和6年3月22日(金)まで

〒602-8054
京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2
京都府庁西別館 京都府土地改良事業団体連合会

お問い合わせ TEL (075) 451-4137

E-mail info@midorinet-kyoto.jp <http://www.midorinet-kyoto.jp>

どなたでも応募OK
これまでの受賞作品を
Check! ▶



～未来につなごう京都の農業農村～
京都府土地改良事業団体連合会